

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和6年 8月 9日(金)
クラス名(年齢)	かりん組(2歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

<テーマ>

自然の中の光

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

玄関のブラインドからのわずかな隙間から入ってくる光に興味を示し、手で触れてみようとしたり、手を伸ばして光を消してみようとしていた。興味を示し、観察してみようとする姿が見られた。

2. 活動スケジュール

光の反射で遊ぶことのできる玩具を用意する。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)





光の反射で遊べる玩具、カラーフィルム

4. 探求活動の実践

<活動内容>

・ブラインドの隙間から入ってくる光に興味を示す。
 ・光の反射で遊ぶことのできる玩具を使って、壁や衣服に反射してみる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
<p>・「わあ、これなんだろ」と、ブラインドの隙間から入ってくる光に気づき、触れてみようとする。</p> <p>・しばらくじっくりと観察をしていたので、光の反射で遊ぶ玩具遊びを提案。保育者の服に反射した光を不思議そうにじっくりと見ている。 「先生のお洋服光ってるね！」</p> <p>・「ぼくもやってみたい」、「ここにも光ってる」と、光への興味が広がっていった。</p>	   

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・カーテンのわずかな隙間からの光に興味を示し、手を伸ばして追いかけていた。手を伸ばした部分だけ、光が消えるので、光を見つけては追いかけていた。
 ・子どもたちが光に興味を示していたので、光に反射する玩具を用意した。光に当てて壁に光が反射することに気づき、自分たちで動かし発見を喜んでいた。子どもたちが何に興味を持っているのか決めつけずに、姿をよく観察していく。